

お申し込みありがとうございます。

ジュエリー文化史研究会のお知らせをいたします。

当初、18名の方でのスタートを予定していたのですが、

その後も熱心な参加希望者がいましたので、検討の結果、2クラス開くことにしました。

第1回研究会日程

Aグループ:(原則、最初に申込んだ方々) - 2月23日(土)

Bグループ:(原則、1次締め切り後に申込んだ方々) - 3月9日(土)

参加人数調整のため移動をお願いすることもあります。

その時にご協力、おねがしいたします。

<時間>

通常、午後の3時～5時。ただし初回は会からの報告や参加者の自己紹介のため30分多く
とって3時～5時30分位とさせていただきます。

<テキスト>

露木宏編著「日本装身具史」(美術出版社刊)は、P79～104(江戸中期・後期)を読んで下さい。(お持ちでない方は日本宝飾クラフト学院のHPの通販ページよりお申し込み下さい)

ジュエリーコーディネーター(JC)誌の露木宏連載「日本の宝飾文化史6 - 江戸時代後期その」(最新号、昨年末12月15日発行)をよく読んでおいて下さい。

ゼミは主にJC誌を使って進めます。

JC誌がない方は日本宝飾クラフト学院ジュエリー文化史研究会係(担当・深谷)までご連絡ください。後ほど、その部分の資料(1回分300円 - 送料込み)をお送りします。

<当日>

研究会は日本宝飾クラフト学院 東京本校2F教室で行います。

3時10分前位にお越し下さい。

参加費3,000円と資料を求めた方は資料代(300円)を1F受付でお支払い下さい。

<その他>

たまにしか出席できないが、会への参加を希望する方がいます。主宰者の判断で会の維持・発展に必要な方はオブザーバーまたは特別会員として参加していただくことにします。(参加費は会員と同じ)

ゼミは近世・江戸後期～昭和戦前（または戦争直後）までを予定しています（年 4 回、計 12～14 回ぐらいが 1 期となります）。原則として古い時代から順に進みますが、都合により、時代を前後することもあります。

レギュラーのハンドリングゼミ以外に、年 1 回程度、ゲスト講師を招いて「ジュエリー文化史サロン」を開きたいと考えています。

希望者がいれば専門家による「ワークショップ」のようなものも検討したいと思います。

来年度には、既にお知らせしている「世界の装身具ハンドリングゼミ」（別途募集）の他、「宝石 100 年共同ゼミ」（昭和 41 年刊の「宝石 100 年」という本を基本テキストに日本のジュエリー史を極める学習・研究会）を年何回か開く予定です（希望者参加）。

また、参加者の中にはすでに専門的な研究を進めている方もいるようです。そうした人にレポートしていただき、意見を出し合うようなことしてみたいと思います。

なお、来年度からは参加費とは別に年会費（会運営費）を多少収めていただくことになるかと思えます。

以上、現在予定していることや考えていることです。

不慣れなところもあり、ご迷惑かけることもあるかもしれませんが、よろしく願います。皆さんと共に学び・研究していきたいと思えます。

では、研究会でお会いできることを楽しみにしております。

露木 宏（主宰） 戸倉 博之（幹事）